

報道関係者各位

2015年(平成27年)10月22日

第15回 ファンケル クラシック ファンケル クラシック基金 5,904,212 円を3団体に寄付

株式会社ファンケル(本社:横浜市中区、代表取締役社長執行役員:宮島和美)は、公益社団法人 日本プロゴルフ協会(=PGA、所在地:東京都港区、会長:倉本昌弘)主管競技、PGAシニアツアー「ファンケルクラシック 2015」を、2015年8月21~23日の3日間、静岡県裾野市の裾野カンツリー倶楽部にて開催し、2010年以来6年連続で20,000人を超える21,915人のギャラリーの皆さまにご来場いただきました。

当社では、同大会を社会貢献活動のひとつと捉え、ギャラリーの皆さまからの募金やプロ愛用品のオークションなど、積極的なチャリティ活動を実施しております。

今年はチャリティ活動における皆さまからのご協力に加え、第15回ファンケル クラシック優勝者でグランドシニア賞も獲得した室田淳プロより、獲得賞金の一部もご寄付いただき、総額 5,904,212 円を『ファンケル クラシック基金』を通じて「静岡県裾野市」・「社会福祉法人訪問の家」・「国連 WFP」の3団体へ全額寄付いたしました。ご協力いただいた皆さまへの御礼とともに、ご報告申し上げます。

当社は、今後も『ファンケル クラシック基金』のほか、さまざまな形で社会貢献活動を続けてまいります。

【『ファンケル クラシック基金』とは】

当社は、「シニアの元気が日本の元気!!」をスローガンに、静岡県裾野市の裾野カンツリー倶楽部で、2001年よりPGAシニアツアー「ファンケル クラシック」を開催しております。

当社では、同大会を社会貢献のひとつと捉えており、第1回大会より収益金の一部を大会開催地である裾野市などへ寄付してまいりましたが、社会・地域の皆さまへの貢献活動をさらに充実させるため、2007年に『ファンケル クラシック基金』を設立いたしました。

同基金は、①地域とのつながり②ハンディキャップを持つ方々との交流を柱とし、運営委員会の協議により、寄付先を選定しています。2015年10月15日には、長年の寄付活動に対して静岡県裾野市長より有功善行賞をいただきました。

当社は、今後も「ファンケル クラシック」を通じてシニアの元気のサポートと、社会貢献活動を継続してまいります。



ファンケルクラシック会場での募金活動の様子

【『ファンケル クラシック基金』運営委員】

高橋勝成氏(プロゴルファー) 二宮清純氏(評論家・スポーツジャーナリスト)
池森賢二(株式会社ファンケル 代表取締役 会長・ファンケル クラシック大会会長)

【2015 年度寄付先】

寄付先		寄付金額(円)
静岡県裾野市	「ファンケル クラシック」の会場である裾野カンツリー倶楽部は、静岡県裾野市にあります。大会会場の地元で有形無形のご支援をいただき、当社が毎年非常にお世話になっている自治体です。	1,968,072
社会福祉法人 訪問の家	「重い障がいがあっても、たくさんの人と関わり青年期を豊かに暮らしてほしい」という想いから、障がいのある方の家族と日浦美智江前理事長により1985年に設立された社会福祉法人です。 重度・重複障がい者通所施設「朋(とも)」の開設以来、現在は24の関連施設で活動を展開しています。	1,968,070
国連 WFP	国連 WFP は、飢餓と貧困の撲滅を使命に活動する国連の食糧支援機関です。自然災害や紛争の被災者、妊婦や授乳中の母親、栄養失調の子ども、遺児、病人、老人など最も貧しい暮らしを余儀なくされている人を対象に、毎年平均、80ヶ国以上でおよそ9千万人以上に食糧支援を行っています。	1,968,070
合計		5,904,212

本件に関するお問い合わせ先:

株式会社ファンケル 社長室 広報グループ
TEL 045-226-1230 FAX 045-226-1202